



「長崎県長与町に初のプロテスタント教会として土地建物を取得」津嘉山ファビオ宣教師家族と建物

献身の証し

金澤福音キリスト教会牧師
丸岡福音キリスト教会牧師

菅原純次



私は、二十二歳の時にイエス・キリストを救い主と信じました。京都キリスト福音教会

でクリスチャン生活を始め、導かれて妻由紀子と結婚し、三人の子どもに恵まれた家庭を営んでおりました。今から三十八年前、当時三十歳

で、主にこの身を委ねた時の話です。なお、妻は今も献身者ではありませんが、献身した私と同じ思いで過ごしてくれている事を感謝しています。

当時、教会で奉仕をしていた私たちの所に父親が急遽訪ねて来ました。そして、鬼のような形相で、私たちがこれから歩む道に立ちほだかりました。「純次、お前、三人の子ども（年中、三歳、一歳）をこれからどうやって養って育てていくのだ。そんな薄給で、子どもなんか育てられる訳がない。馬鹿者、今すぐ辞めて、もう一度、職場に戻れ。」と強い口調で迫ってきたのです。我が家の経済を考えると、とても言い返せる状況ではありませんでした。しかし、妻は父に懇願しました。「お

義父さん、確かに経済的にはこれから苦労するでしょう。その事も十分考えて、この世界に入りました。私たちは腹をくくっていますので、今しばらく黙って見守っていただけませんか。」私も、ただ床に頭を擦り付けるようにお願いするしかありませんでした。妻が堂々と云ったので、父は黙って翌日帰りました。

それから数年後、父親が再び訪ねて来ました。教会の集会に参加してくれるとのことで喜んで迎えました。その集会后、父はこのように言いました。「由紀さん、私は今まで、家が貧乏になったならば、顔まで貧相になると思っていたが、あなたがたは違うね。喜んで、生き生きと働いている。もう何も言わん。信じた道を歩んでくれ。」そして、父は田舎に帰って行きました。

この言葉は、私たち夫婦がイエス・キリストにあつて初めて勝利を実感した経験でした。

「人が、若い時に、くびぎを負うのは良い。それを負わされたなら、ひとり黙ってすわっているがよい。」

(哀歌3・27〜28)

ホーム・オブ・ピース 小山英児

2022年9月18日(日)13時からズームを使って、バングラデシュのホーム・オブ・ピース(HOP)の子どもたちとの交流会を開催しました。バングラデシュと日本の時差は3時間です。HOPは、バングラデシュ北部の辺境地にあるため、インターネットの不具合が多少生じてしまうものの、元気な子どもたちの姿を見ることができて感謝でした。最初に、理事長のアルバート先生の挨拶、そして、新しい校長先生の紹介がなされました。その後、子どもたちの歌と踊りが披露されました Yes! Jesus loves me. (そうです、イエス様は私を愛しています!)と叫ぶ子どもたちの姿は本当にかわいかったです! この子どもたちが未来のバングラデシュのキリスト教会のリーダーたちです。それから、クラス・ルートを周りました。昨年、新しく建てられた教室棟は、今まで教室がなかったことを忘れてしまうほど素晴らしいものでした。今回は、英語でスピーチしてくれた子どももいました!(きっと、今日のために、一生懸命、準備してきたのだと思い、感動しました!)その後、建設中の食堂も見せてくれました。10月には完成予定です。皆様のご支援によって、しっかりした、手洗い場のある食堂が建てられています。今まではポンプ式の井戸



を子どもたちは使用していました。それから、男子寮、女子寮も見せてくれました。最後に、学校に戻ってくると、なんと、子どもたちが全員(現在553名が在籍)、校舎の前に出てきてくれていました。それほど、日本からの支援がHOPにとって大きな助けとなっていることを再認識させられました。子どもたちみんなから、日本の支援会の皆様に感謝の言葉が述べられました。

バングラデシュにおける新型コロナの影響は収束しつつあるようです。ただ、これからの伝道スタイルは今までのような野外伝道集会のスタイルではなく、より地道な伝道スタイルが模索されているようです。私たちの支援が、未伝道地への世界宣教となります。

～TPKF 三役の提言～

TPKFはどこに向かうのか!?

書記 上田勇矢



今年6月、TPKF三役は東京で集まり「どのようなTPKFになりたいのか」を共に考えました。教会が生き生きし、次世代が育成され、一致していく必要があります。課題や目標を掲げるだけでなく、行動に移す必要があります。一例として、南さつま、青森に教会が開拓され、長崎県には津嘉山宣教師一家を中心とし40名ほどの集まりが生まれたことを分かち合いました。彼らはすべてTPKFの一員です。

コロナ禍が終盤を迎える今、問われるのは「教会はどうあるべきか」です。まずは一人一人が主体的に考えることが必要です。マスクを外す? 着ける? ワクチンを信頼し続ける? やめる? 飲食を共にする交わりをする? しない? ……偽預言宗教と偽りの愛が横行し、人の愛が冷める中、人々は「真実の愛の交わり」に飢え渴いています。「わたしがあなたがたを愛したように、…

あなたがたも互いに愛し合いなさい。…互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」(ヨハネ13章34～35節)世の中は互いの中に距離を置くように勧めます。イエス様は、人がどう見るかといって、群衆の反応を恐れることなく、ディスタンスを強要された病人たちに近づき触れました。私たち教会は、あなたはどうかされますか?

TPKFのTは単立、つまり自立した教会の集まりなので、個々の教会の個性・ユニークさが尊重されます。しかし、同時にFはフェロウシップ、つまり交わりです。「自立しながらも協力し合う関係」がTPKFです。イエス様は、弟子たちが「互いに愛し合うこと」つまり、「神の愛が、交わりを通して現わされること」を期待されています。ですから、私たち三役は「交わりの回復によって、よりよいフェロウシップとなること」を目標として掲げました。孤独・孤立ではなく、交わりを通して、この時代を、信仰の友としてみなさんと一緒に走りぬいていきたいと強く願っています。

信仰の継承

深草キリスト福音教会牧師

杉山睦生

私たち夫婦にとって大きな課題は「信仰の継承」ということです。「信仰の継承」のことを考える時、思い出されるのは聖書に書かれているテモテの事です。テモテの祖母ロイスと母ユニケは純粋な信仰をもったクリスチャンでした。そして、その信仰がテモテにも受け継がれていきました。Ⅱテモテ1：5には「私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています。」と書かれています。テモテの祖母ロイスと母ユニケがテモテが信仰をもつためにテモテのために祈り、御言葉を語り、集会に行くように勧めたことは間違いのないことであると思います。テモテの祖母ロイスと母ユニケは私たち夫婦にとっても模範的な人物です。

私たち夫婦には3人の子どもが与えられました。現在3人はみな30代になり、長男は介護関係の仕事をしています。長女は牧師の妻となり、現在1才と0才の男の子の子育て真っ最中です。次女は自立し会社員として日々頑張っている。親としては3人の子どもがここまで元気に育ってくれたことは、ただ神様の恵みであると感謝しています。

長男が1才ぐらの時、ポットの熱湯を顔にかぶりそうになったことがありましたが、腕を少し火傷しただけですみました。また、次女がよちよち歩き始めた1才の頃には、商店街を猛スピードで走ってきた車にひかれそうになる寸前で守



られました。過去、思い起こすとゾットするようなことがいろいろありましたが、いつも主の守りがあったことを感謝せずにはられません。

子どもたちのために私たち夫婦が願っている

ことは3人ともがイエス様を信じて歩いてほしいということです。そのために何をしてきたかと問われるならば、「ああしておけば良かった、こうしておけば良かった」と反省するばかりです。ただそのような者ですが、私自身が牧師で教会に住んでいたこともあって、子どもたちが幼い頃から、子ども会や礼拝に出席して神様の御言葉を聞くことができたことは幸いなことであつたと思っています。

長女が教会の50周年の記念誌に次のように書いています。「牧師の娘として生まれ育ち、主と兄弟姉妹の愛の中で育てられてきたことは、私にとって大きな恵みでした。子どもの

頃から当たり前のように過ごしてきた環境でしたが、それは、主の

素晴らしいご臨在の中、兄弟姉妹のとりなしの祈りの中で生かされてきたということです。これは、私にとってかけがえない宝物です。」このように告白しているように、3人の子どもは教会の中で、兄弟姉妹のとりなしの祈りと愛と導きによって霊的に育てられてきました。今は天国に行かれていた有馬先生ご夫妻、またフィンランドに帰られたラッセ・ヘイモネン先生ご夫妻には子どもたちのために大変良くして

いただきました。このことは子どもたちも一生忘れることがないと思います。

2年ほど前に長男と次女を連れて車で

旅行に行ったことがありました。その時、長男が有馬先生の聖書のメッセージのテープがあれば聞きたいと言うので、車の中で聖書研究の話聞きながら旅行したことを思い出します。おそらく、長男は礼拝での有馬先生のメッセージを覚えていて再度聞きたいと願ったのではないかと思います。私自身も家内もクリスチャンホームで育ったものではありません。私自身は深草の教会に導かれ、有馬先生のメッセージを聞いてキリスト教に興味を持ち、ラッセ・ヘイモネン先生の祈りの導きによってイエス様を信じる決心をした者です。有馬先生ご夫妻、ラッセ・ヘイモネン先生ご夫妻には親子ともども大変お世話になりました。

伝道者の書12章1節に「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」という有名な御言葉がありますが、本当に重要な御言葉であると思います。私たちの子どもたちも3人ともみんな大人になりました。私たち夫婦も霊的導きということを考える時、幼い時とは違う対応をしていかなければなりません。主から知恵をいただきながら子どもたちのために祈り、御言葉を語り、教会に誘いたいと思っています。我が子3人がイエス様を信じて幸いな人生を築き、天国を目指して歩んでもらいたいと願っています。私たち夫婦は世間的には子育ては終わっている様に見えるかもしれませんが、霊的には子育て真っ最中です。



右が有馬貴治師



主の導き

町田純福音教会 奥野 祥行

私は滋賀県守山市の出身で実家のすぐ近くに教会がありました。その教会で母と弟は洗礼を受け、父もその後救われました。私自身は小学生の時に2～3度母に連れられてその教会を訪れたことはありましたが、神様に向き合うことなく学生生活を経て社会人になり、結婚して妻と子ども3人の父として信仰のない人生43年を過ごしていました。その間も両親からは聖書や御言葉に関するたくさんの本をもらいましたが、自分にはあまり関係ないかなと神様に向き合うことはありませんでした。

2020年夏、妻が天に召されました。私たち家族はあまりに突然のことに悲しみに暮れ、残された家族4人これからどうすればいいのか絶望していました。そんな中、両親が「町田の教会で守山の上田正美先生が牧師をされているから、一度礼拝に参加してはどうか」と連絡をくれました。私の家から町田純福音教会まで電車で1時間もかかりません。そんな近くに私の実家の近くにあった教会のあの上田先生が牧師をされていて、次の日曜日に南さつまの教会から5か月ぶりに町田に来られてメッセージされるとのことです。何とも言えない不思議な感じがあり、何の迷いもなく教会を訪れました。

礼拝当日の上田先生のメッセージは、「使徒の働き 8:26-39」でメッセージタイトルは「導き」でした。神様が荒野のガザにエチオピア人の宦官の元にピリポを遣わせ、宦官がピリポからその場でバプテスマを授かる場面です。メッセージを通じて「神様は荒野で（試練の時に）栄光を現わされること」「神様は一番よいタイミングで一番よいことをして下さること」「我々のために道を用意して下さっていること」を知りました。まさに「神様が私と家族にとって一番ふさわしいタイミングに上田先生を南さつまから町田に遣わせて下さり、信仰を持つという道を用意して下さった」のであり、全てが神様の「導き」だったのです。それから間もなく私は救われました。神様に導かれ、共に歩めることに感謝します。

「主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。」（詩篇 23：1）

感謝

水口キリスト福音教会 中村 賢司



私の地元は田舎で偶像が日々の生活にあり、神社・寺の行事が多くあります。父も熱心に神社・仏壇に供え物をして手を合わせていました。家族にも同様のことを求めて、私も何の迷いもなく当然のことと思いました。両親は夫婦仲が悪く、母を蔑むような父の言葉を聞くことが子ども時代にとっても苦痛でした。父は朝から仏壇を拝み、常に先祖を大切にと言っているのに、なぜ一緒に生活をしている母を大切にしないのか疑問でした。父は幼い頃に病気で父親を亡くし、戦後の大変な時代を貧しく暮らし、苦勞が多くあったと言っています。それに比べ、私には苦勞らしいものは見当たりませんでした。

しかし、私は20歳頃より生きづらさを覚え、何を指針に生きていくのがいいのか悩んでいました。様々な本を読み、仏壇を拝み、好きな酒を飲んでも、何の解決にもなりません。空しく感じる日々の中で、ある日映画の『ミッション』を観て、宣教師が命・すべてを懸けて、キリストを宣教している姿に感動しました。興味があったのですが、私の周りにはクリスチャンの方がおられず、聖書を求めて、教会に行きました。宣教師先生が礼拝に誘って下さり、出席するようになりました。聖書には、人がどのように生きていけば良いのか、キリストの十字架、復活、祈りなどが記されていて、他とは違う、納得できる真理だと感じました。教会に導かれ、変えられた人生となり、感謝する日々となりました。

私は父や地域の方に本当の神を知ってもらう為、時間を作り、トラクト配布をさせていただいています。父はキリスト教には反対せず、トラクトも見てください。ある時、私が教会に行こうかと誘うと、父は行きたいと言って、礼拝の讃美やメッセージを頷きながら聞いてくれて、共に祈りすることもできました。父は今病院にいて、仏壇・神社から離れた日々を過ごしています。私が時折お見舞いに行き、タブレット越しに面会すると、父はいつも「来てくれるのがありがたい」と感謝の言葉を伝えてくれます。笑顔の父を見て、恵まれています。主に感謝。

■ イーストフェロシップデー 〈イースト〉



9月23日の祝日に「イーストフェロシップデー」がオンラインにて開催され、多くの方々が参加され、豊かな交わりの時となりました。

河西ヨルゲン先生、インゲルポールソン先生、在原繁先生が、それぞれ時間をオーバーするほど大胆に御言葉を語って下さり、その後、グループに別れて、楽しい交わりの時が与えられました。町田純福音教会では、ご家庭にネット環境がない方のために教会を解放し、共に集い、共に喜びの時を持つことができました。感謝！ (小川祐司)

■ 神戸フィラデルフィア教会の伝道 〈FCMF〉

神戸フィラデルフィア教会では今年、本格的に暑くなるまでは駅前伝道を月2回(第1、第3水曜)行いました。ギターを弾きながら賛美し、トラクトを配りました。賛美してい



■ KBI

いつもKBIのためにお祈り感謝いたします。夏期奉仕期間を終え2学期が始まりました。帰ってきた学生たちで、KBIにもぎやかさが戻ってきました。今学期は、いつもの学びと訓練にくわえ、様々なゲストによる特別授業、KBIを覚える日など盛りだくさんのスケジュールとなっています。

また、久しぶりに11月3日にはチャリティーバザーを行おうと祈り準備しています。国内外への宣教はもちろんですが、KBIのすぐそばにおられる方々にも、よき交わりの時となるように、またよい証しとなるようにと思います。置かれているところで、主にあって喜んで誠実に仕えていくことができるようにと願っています。

続けてKBIや学生たちのために祈りに覚えて頂けましたら幸いです。(関西聖書学院 教務 豊村泰)

る私たちの前でじっと賛美を聞いてくださる方、たまには教会について質問される方もおられました。私たちには伝道する時間が主から恵みを受ける時間でした。

小学校の夏休み期間には、毎週火曜13時から16時まで「宿題会」を行いました。①体を動かして遊ぶゲーム②工作③宿題④おやつタイム⑤スーパーブック(聖書アニメ)上映を順に行い、子どもたちと先生が楽しく過ごしました。また1泊2日の「バイブルキャンプ」を教会に泊まりながら宿題会の延長戦のような形で行い、聖書の話により触れられる時間をもちました。2日目にはプールで夏の暑さを忘れて遊び、顔は真っ黒になりました。(金起賢)

■ キリスト福音教会秋季聖会 〈キリスト福音〉



コロナ禍、聖会開催の困難さを覚える中、9月23日に京都府亀岡市に於いて、秋季聖会を開催いたしました。大型の台風14号が日本列島を過ぎ去った直後、各地から120人の参加者が集まり、インターネットでも同時配信が行われました。

講師はちから誌で連載記事を書いてくださっている浜原昭仁先生と、奥様であり金沢こころチャペルの牧師を務める外余美先生でした。

テーマはローマ書5章5節から「キリストへの希望は失望に終わることがない。」昭仁先生は、「待つ」ことのむずかしさを取り上げてお語りくださいました。

外余美先生は、高校時代に小松ベタニヤ福音教会に導かれ信仰を持ちました。神社の宮司であったお父様が急に倒れ、回復の望みが無いと言われる中、外余美先生が神様と格闘し、お父様がイエス様を信じるのができ、癒された壮絶な体験をお証くださいました。(吉田 隆)

教会紹介



丸岡福音キリスト教会

所在地：福井県坂井市丸岡町西里丸岡 10-6

今から約 55 年前、創立牧師である森田令信牧師夫妻が旧坂井郡丸岡町に遣わされ、活動を開始。そして、1970 年に会堂を建設し、そこで礼拝を捧げ現在にいたります。森田先生は 2013 年に 73 歳、病気にて、天国に凱旋しました。その後、菅原純次牧師夫妻によって引き継がれ、森田牧師夫人清子姉と共に、礼拝、祈り会など、また、季節によるイベントなど、地域に根差した宣教活動を行っております。
(菅原純次)

水口キリスト福音教会

所在地：滋賀県甲賀市水口町古城が丘 4-31

水口キリスト福音教会は 1966 年にエーロ & ミンニ・ポルキ師夫妻によって開拓され、1975 年に献堂されました。1982 年に福本早苗師、1997 年にマルク・オリカイン師、2012 年には西川牧雄師が着任し、今日まで教会員とともに主をあがめつつ、地域の方々にキリストの福音を宣べ伝えてきました。現在はコロナ禍で活動を制限していますが、主日礼拝や祈祷会、ひよこくらぶ(幼児科)は感染対策をしながら継続しています。神を愛し、隣人を愛する教会(マルコの福音書 12 章 28 ~ 31 節)でありたいと願っています。
(西川牧雄)



教会・働き人情報

■ 磯子フィラデルフィヤ教会

7 月 菅原幸子牧師就任(JTJ 宣教神学校 3 月修了)

■ 小松南部キリスト教会

2022 年 1 月、母教会小松ベタニヤ福音教会と統合。今後は小松ベタニヤ福音教会として教会を継続。

■ 守山キリスト福音教会

長崎県長与町に枝教会(ファビオ宣教師夫妻)となる地上 4 階建ての土地建物を取得

● 住所変更

高橋敏雄、洋子牧師夫妻

新住所 〒 253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 3186 スカイコーポ 101

● 2023 年聖会予定

イースト新年聖会 1 月 9 日 講師：白田百合子師

キリスト福音教会恵風聖会 2 月 23 日 講師：在原繁宣教師

● 2023 年 T P K F 大会

日 時：6 月 5 日(月) 10 時 ~ 15 時(予定)

対 象：教職者(配偶者含)、教会代表者(役員、長老、執事など)

開催方法：Zoom ウェビナー

タイトル：「シン・ T P K F」

テ ー マ：「見よ。わたしは新しいことを行う。」(イザヤ 43:18-21)

講 師：T P K F 三役

大会委員長：芳三容子師 / 実行委員長：宮崎一実師

CD 紹介 キリスト福音教会秋季聖会

「キリストへの希望は失望に終わることがない。」(ローマ 5 : 5)

キリスト福音教会秋季聖会(2022 年 9 月 23 日)のメッセージ CD 全 3 枚・1 枚 700 円(送料込み)

講師 浜原昭仁師・外余美師(金沢こころチャペル)

注文先 宣教メディアセンター TEL:075-633-6934

E-mail: senkyomedia@gmail.com

単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川めぐみ教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
 甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
 いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / プンキョウゴスベルセンター
 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
 グローリーチャーチ教賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
 瀬戸サレム教会 / 大阪キリスト福音教会名古屋伝道所 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会
 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会
 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に 1 部以上を送っています。私たちの願いはすべての T P K F の信徒が 1 部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

T P K F の公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

